

# 2024 年度出発金沢大学派遣留学生募集要項 [1次募集 (秋募集)]

## 【応募上の注意】

新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、募集・選考後に派遣を中止する可能性があります。

### 1. 目的

本学と学生交流の覚書を締結している海外の大学に本学学生を交換留学生として派遣することを目的とします。

### 2. 派遣期間

学生交流の覚書等に基づく期間を原則とし、3ヵ月以上12ヵ月以下とします。  
なお、本募集における留学の開始は、原則として令和6年4月から令和7年3月までの間で、派遣先大学の学年暦の最初の学期に合わせることにします。  
推薦者となる指導教員と相談の上、期間を決定して下さい。

### 3. 対象地域

金沢大学派遣留学 Web サイト (<https://sgu.adm.kanazawa-u.ac.jp/international/studyabroad/>) に記載されている協定校のうち、オーストラリア、韓国、ブラジル以外の国・地域の協定校大学。(韓国・オーストラリア・ブラジルの協定校への派遣留学生は、来年春に募集予定です)

### 4. 応募資格

以下のすべてを満たす者で、本学の正規学生に限ります。ただし、国費留学生及び外国政府派遣留学生を除きます。

- (1) 学籍上「留学」で派遣留学を行う者 ※「休学」での派遣留学は認められません。
- (2) 原則として応募する時点の前の学期の学業成績が GPA2.0 以上の者  
今回の募集では 2023 年度第1クォーターと第2クォーターの学業成績が対象です。  
特別な事情(休学期間等)がある場合は、2022 年度第2学期(第3クォーターと第4クォーター)の学業成績での申請を可とします。(理由書(様式任意)及び事情を確認できる書類を提出してください)。
- (3) 協定校において、本学の卒業・修了要件となる単位の一部を協定校との単位互換制度を用いて取得しようとする者
- (4) 留学期間満了後に本学に戻って学業を継続しようとする者
- (5) 留学に耐えうる健康状態にある者
- (6) 目的及び計画が明確であり、派遣留学により十分な成果が期待される者
- (7) 部局間交流協定校への派遣留学の場合は、当該部局に所属する者
- (8) 派遣先大学での学修に支障のない水準の語学力を有する者
- (9) 派遣先大学において、英語を主たる使用言語とした学修を希望する者は、TOEFL-iBT 60点以上、IELTS 5.5以上のスコアを有していること。ただし、希望する協定校において上記より低い語学スコア要件またはTOEIC等のスコア要件が定められており、その要件を満たしている場合は、この限りではない。
- (10) 派遣先大学において、英語以外の言語を主たる使用言語とした学修を希望する者は、当該言語を初修言語として履修し8単位を修得済みまたは修得見込みであること。ただし、協定校において定める当該言語の要件を満たしている場合(要件が定められていない場合を除く)は、この限りではない。 いずれの要件も満たしていない場合は、英語に関して(9)と同等の要件を満たす場合に限り、応募を可とする。

### 5. 応募書類等

「派遣留学の手引き」を熟読し、指導教員やアドバイザー教員等、所属学域・研究科の教員と必ず面談したうえで、応募してください。

- ① 派遣留学申請：オンラインで申請する。
- ② 派遣留学計画書：パソコンで作成する。(手書き不可)
- ③ 派遣留学候補者推薦書：推薦者は原則、指導教員又はアドバイザー教員とする。
- ④ 学業成績証明書：他大学出身の大学院生または編入学歴のある学生のみ必要。(1年次からの分。)
- ⑤ 語学能力を証明する書類：
  - i. 派遣希望大学の使用言語が英語の場合は、2年間の有効期限内の TOEFL-iBT もしくは IELTS のスコアカードの写しを提出すること。(TOEFL-ITP のスコアは受け付けない。)
  - ii. 派遣希望大学の使用言語が英語以外の場合も、公式に行われる当該言語の検定試験のスコアカード等を可能な限り提出すること。
- ⑥ 誓約書：保証人のサインが必要。

### 6. 提出方法

応募書類①②④⑤：応募は8月1日(火)から受付を開始します

- ①はアカンサスポータル LMS コースよりオンライン申請

②④⑤は1つのPDFファイルにまとめLMSコースよりアップロード

※PDFのファイル名は自分の氏名としてください

アカンサスポータル > 教学 > LMSコース(WebClass) > 国際部 > 2024年度渡航 派遣留学 > (1次募集用) [所属の学域、研究科]派遣留学申請

**応募書類③**：所属する学域・研究科の留学担当係へ、推薦者(教員)がメールで提出する。

**応募書類⑥**：所属する学域・研究科の留学担当係へ原本を提出

※応募書類②③⑥は金沢大学派遣留学 Web サイトから、様式をダウンロードして用いること。

## 7. 単位互換について

派遣先大学で取得した単位は、帰国後本学において所属学域・研究科の承認が得られれば、卒業・修了要件の単位として認定されます。単位認定が可能な科目等は各学域・研究科によって異なるため、派遣を希望する協定大学で提供されている授業科目等について、協定大学の公式 Web サイト等で情報収集し、留学計画について事前に指導教員や所属学域・研究科の学務係と必ず相談してください。

## 8. 不測の事態等による派遣の中止・中断

派遣留学を辞退する場合、またはテロ・自然災害、感染症・疫病の流行等の不測の事態が発生し大学の判断で派遣を中止・中断する場合、その理由を問わず、派遣前後に発生した一切の費用(キャンセル料や、中断の場合の帰国旅費を含む)は学生個人の負担となります。(大学側へ請求することはできません。)

※新型コロナウイルス感染症の影響により派遣中止・中断となった場合も上記に該当します。

## 9. 派遣留学のための奨学金(給付型)

奨学金の詳細は金沢大学派遣留学 Web サイト、「派遣留学の手引き」及び各奨学金のホームページ等で確認してください。

※以下①②の奨学金を希望する場合は、派遣留学申請(応募書類④)の設問 25 で「1. 申請を希望する」を選択してください。

### ① 日本学生支援機構(JASSO)海外留学支援制度(協定派遣)による奨学金

支給月額：6万、7万、8万、10万円(派遣先地域により異なる。)

対象：日本国籍を有する者又は日本への永住が許可されている者、JASSOの算出方法による出発前年度の成績評価係数が2.3以上(3.00満点)の者 ほか

支給人数：若干名(予定)

### ② スタディアブロード奨学金 学域・大学院派遣枠 a

支給金額：JASSOの成績基準を満たす者はJASSOと同額・同じ給付期間、

上記の者であっても予算の範囲を超える場合およびJASSOの成績係数を満たさない者はJASSOと同額を1か月分のみ支給

対象：日本国籍を有し本学の派遣留学制度で留学する者で、JASSO等の外部奨学金を受けられない者

支給人数：若干名(予定)

**<注意！>①、②については、当該年度の予算によって支給人数が変動します。希望者全員に支給されるものではありません。**

**日本学生支援機構(JASSO)第二種奨学金(短期留学)制度<貸与型>\*1や、個人で応募が必要な民間奨学金についても、積極的に情報を集め、応募するようにしてください。**

\*1 詳細は学生支援課学生支援係(奨学金担当係：本部棟2階)へ問い合わせてください。

## 10. 応募締切

**2023年10月2日(月) 13:00(時間厳守)**

応募時に登録したアドレスに、国際部留学企画課留学推進係(studyabroad@adm.kanazawa-u.ac.jp)から応募受付の確認メールを送信します。10月10日(火)までに確認メールが届かない場合、上記メールアドレス宛てにお知らせください。

## 1 1. 選考の実施

- (1) 協定校ごとに定める派遣人数枠を超過して申請があった場合、当該校を第1希望とする学生に対して面接選考を行います。該当者には別途連絡します。
- (2) 協定校ごとに定める派遣人数枠を超過しない場合であっても、申請書類等の評価（書面選考）に加えて面接選考を実施する場合があります。 該当者には別途連絡します。
- (3) 面接は派遣留学計画書の内容に基づき、質疑応答を行います。 使用言語は原則として日本語です。
- (4) 面接の実施は 10月27日（金）、10月30日（月） を予定しています。  
対象者には、申請時に登録したメールアドレス宛に 10月17日（火）までに面接日時の連絡を行います。必ず確認と返信をしてください。返信がない場合、面接の実施ができず不合格となる場合があります。
- (5) 面接後、申請書類（書面選考）と面接選考の結果を踏まえて総合的に判断し当該協定校への推薦学生を決定します。
- (6) 面接選考を実施しない場合は書面のみで選考を行います。

## 1 2. 派遣留学候補者の決定

- (1) 派遣留学候補者としての採否の決定通知は、12月中旬の送付を予定しています。
- (2) 派遣先大学における選考（手続き）段階において、派遣先大学が要求する水準に達しない候補者は、採用が取り消される場合があります。

## 1 3. 決定後の手続きについて

外務省が渡航・滞在にあたって特に注意が必要と考えられる国・地域に発出する「危険情報」において、カテゴリー「レベル2：不要不急の渡航は止めてください。」以上の国・地域の協定校については、危険情報レベルが「なし」または「レベル1：十分注意してください」になったことを確認してから協定校への推薦手続きを開始します。レベルが下がらない場合は推薦手続きを行いません。（感染症危険情報のレベルについてはこの限りではありません。）

応募時点で上記に該当する国・地域の協定校への派遣を希望する学生は、留学計画について熟考した上で応募してください。 レベルが下がらなかったことによる留学先の変更は認めません。

危険情報については、外務省海外安全ホームページ (<https://www.anzen.mofa.go.jp/>) で確認してください。

## 1 4. その他

障がい等の理由により合理的な配慮を必要とする場合は、別途留学推進係へご相談ください。

本件問合せ先：国際部留学企画課留学推進係

（担当：平田）

Tel: 076-264-5263

E-mail: studyabroad@adm.kanazawa-u.ac.jp

## FAQ 派遣留学応募時のよくある質問（1次募集用）

**Q 1 : イギリス・アメリカ等の英語圏の大学を希望する場合のみ、英語のスコアを提出すればよいのか。**

**A 1 :** イギリスやアメリカ以外の国へ留学する場合（例：マレーシア・チェコ等）も、留学先で使用する言語が英語であれば、英語スコアを提出しなければなりません。スコアがなければ、書類不備で不合格となります。また、TOEFL iBT や IELTS は、結果がでるまでには時間がかかります。派遣留学申請時（学内の応募期限）までにスコアを提出できるよう、計画的に受験してください。

また、**英語以外の言語を主たる使用言語とする留学も、当該言語の要件を満たしていない場合は英語のスコア要件を満たしている必要があります。**その場合は、スコアを提出してください。

**Q 2 : 提出する英語のスコアは、オンラインスコアでもよいか。**

**A 2 :** 正式な紙のスコアの到着に時間がかかる場合は、オンラインで確認できるスコアを印刷し、提出していただいても構いません。ただし、オンラインのスコアの場合は、名前とスコアが同時にわかるページを印刷してください。スコアと同じページに名前の記載がない場合は、受験票など受験番号と名前が確認できる書類の写しを補足資料として提出してください。紙のスコアを提出する場合は、本紙ではなくスキャンデータを提出してください。

**Q 3 : 「派遣留学計画書」はどのように作成すればよいか。**

**A 3 :** 様式を下記 Web サイトからダウンロードし、パソコンで作成した上で、ファイルを LMS にアップロードしてください。  
<https://sgu.adm.kanazawa-u.ac.jp/international/formatsforkustudents/>  
派遣留学計画書の作成にあたっては、「**派遣留学計画書作成要領**」に記載の事項を厳守してください。

**Q 4 : 希望する協定校が定める語学要件を満たしていないが応募できるか。**

**A 4 :** 学内応募時点では、募集要項の「4. 応募資格」に定める要件を満たしていれば応募が可能です。ただし、**協定校の要件を満たしていない場合は、派遣留学の手続き開始（概ね渡航の6か月前）までに語学要件を満たすための学習計画を計画書に記載する**必要があります。協定校において語学要件を満たしていない留学生に対して語学コース等が開講されており、その受講を留学計画に含む場合は、留学までの準備および留学中の語学習得の計画を記載してください。

**Q 5 : 第1希望と第2希望で使用言語の違う大学を志望してもよいか？**

**A 5 :** 応募は第3希望までを志望可能です。いずれも同じ言語での留学としてください。留学で主として使用する言語が同じであれば、派遣希望先の国・地域が異なっても構いません。

○：第1希望 台湾の大学で英語      第2希望 マレーシアの大学で英語

×：第1希望 台湾の大学で中国語      第2希望 マレーシアの大学で英語

**Q 6 : 派遣留学先候補校の大学はどこから選べばよいか？**

**A 6 :** 下記Webページで確認してください。（※随時更新します）

【派遣留学先候補校掲載先】 <https://sgu.adm.kanazawa-u.ac.jp/international/destination/>

**Q 7 : 派遣留学先から帰国後すぐに金沢大学の授業を履修することは可能か？**

**A 7 :** 本学のクォーター制を活用することで、留学先の学年暦によっては、派遣留学から帰国した後すぐに次のクォーターに開講する科目を履修することができます。帰国後の履修登録については、それぞれの学類・研究科にて所定

の期間に手続きを行う必要がありますので確認してください。

**Q 8** 派遣留学の奨学金はどうやって申し込めばよいのか。

**A 8** 「日本学生支援機構（JASSO）海外留学支援制度（協定派遣）による奨学金」及び「スタディアブロード奨学金 学域・大学院派遣枠a」は、派遣留学の申請フォームにおいて「奨学金」を「希望する」を選択してください。受給できる奨学金の種類は、大学が各奨学金の条件等を考慮し決定します。**ただし、これらの奨学金はその年度の予算によって支給者数が変動します。希望者全員に支給されるわけではありません。**

そのほかの奨学金については自ら積極的に情報を集め、各自で応募してください。大学が申請書類を取りまとめる奨学金と、学生自身が直接実施団体等に申し込む奨学金があります。また、留学推進係では様々な奨学金の情報をアカンサポータルやWebサイトで発信しています。

## 誓約書

金沢大学副学長 殿

私は 2024 年度金沢大学派遣留学に出願及び参加するにあたり、事前・事後指導を受けるとともに、下記の事項を遵守することを誓約いたします。なお、誓約事項に反した場合は、金沢大学派遣留学生の資格の取消や金沢大学（以下、本学という）の支援を受けられないことになっても異議を申し立てません。

- 派遣留学にかかる経費について理解し、事前に保証人等の経済的支援者の了解を得たうえで出願すること。
- 派遣留学生候補者として選抜された後においては、本学が正当と認める理由以外での辞退はできないことを十分理解のうえ出願すること。
- 派遣留学候補者として選抜されることは、派遣留学希望大学へ候補者として本学から推薦されることであり、受入が保証されるものではないことを了解すること。また、派遣留学希望大学の事情によっては、受入が許可されない場合もあることを了解すること。
- 派遣留学の趣旨を十分理解し、金沢大学を代表する派遣留学生として派遣先大学での学業に精励し、国際交流に貢献すること。
- 派遣留学に必要な諸手続き（派遣先大学に提出する各種書類の作成、パスポート及びビザの取得、本学の所属学部・研究科における留学及び復学手続き、単位認定手続き、留学に関わる費用の支払い、保険加入等）については、事前に十分理解し、自らの責任において行うこと。
- 派遣留学出発前に、心身ともに長期の留学に耐えうるよう自己の健康管理に努めること。
- 派遣留学に係る出発から帰国までの期間、本学指定の海外旅行保険及び危機管理支援サービスに必ず加入すること（クレジットカード付帯保険不可）。また、派遣先大学の指定する現地保険に加入することを求められた場合は、併せて加入すること。
- 派遣留学期間中は、滞在国又は地域の法令（飲酒・喫煙等を含む）、派遣先大学の学則及び本学の諸規則を遵守するとともに、派遣先大学の指導教員・担当者等の指示に従い滞在国の公序良俗にも反することのないように注意し、健康管理及び安全確保に努め、本学の学生として本人の自覚と責任をもって行動すること。また、日本で禁止されている薬物についても絶対に使用しないこと。
- 派遣先大学が所在する国（地域）の治安、疫病、災害等の状況によっては、本学は学生本人の安全を第一と考え派遣留学の中止・延期または帰国勧告を決定することがあるので、それらの事態が生じる可能性があることを理解するとともに、その場合は日本国外務省・在外公館の勧告・命令及び本学の指示に速やかに応じること。また、これらの事態により発生するキャンセル料や帰国手配等に係る費用負担について、海外旅行保険で補償できない場合は学生本人又は保証人の責任において対応すること。
- 派遣留学期間中の災害、暴動、テロ、事故、疾病、犯罪ならびに学生本人の故意または不注意によるトラブル等（迷惑行為・ホームステイ・本人の持病に起因するものを含む）によって生じた損害については、学生本人または保証人の責任において対応し、一切を処理し、本学およびその関係者に損害賠償その他の責任を追及しないこと。
- 体験実習や専門実習、インターンシップ等を通して知り得た派遣留学先大学またはその関係機関の機密情報や重要事項（顧客情報や活動情報を含む）については、研修終了後においても守秘義務を遵守し、第三者に漏洩しないこと。学生本人の故意または過失によって受入機関や第三者に与えた損害については、学生本人又は保証人の責任において賠償すること。

- 派遣留学前または派遣留学中に、この誓約書に記載された事項に反するなどして、派遣留学生として不適格であると本学または派遣先大学が判断した場合には、両大学は学生本人の派遣留学生としての資格を取り消す権利を有していること。また、この権利行使により生じた身柄引き取り・帰国の手配及びそれに係る費用については学生本人または保証人の責任において対応し、一切を処理すること。
- 派遣留学に必要な諸手続きや緊急時の対応のため、本学に届け出た学生本人及び保証人の個人情報について、本学、派遣先大学、保険会社、本学の指定する危機管理会社、関係省庁及び在外公館が利用することに同意すること。
- 派遣先大学の休暇期間中に旅行等の個人的な理由により派遣先大学・滞在先を離れる場合は、本学留学推進係および派遣先大学の該当部署に事前に届け出て了解を得ること。
- 派遣留学前、派遣留学中、派遣留学後は、所定の届出及び報告書を留学推進係に提出し、派遣留学中の連絡先に変更があった場合も速やかに留学推進係に届け出ること。また、渡航後は速やかに滞在国の日本大使館へ「在留届（3ヶ月以上）」または「旅レジ（3ヶ月未満）」を提出すること。
- 派遣留学期間終了後は、必ず帰国し本学に復学すること。また、本学の了解なく、個人的な理由により滞在期間を延長しないこと。
- 派遣留学について本学へ届け出た個人情報を利用し、留学関係の情報提供や各種イベント（派遣留学説明会、派遣留学報告会等）へ協力すること。また、派遣留学制度の向上のため、後輩学生への情報提供について協力すること。

年 月 日

学域 学類  
研究科 専攻

学生氏名 学籍番号（ ）  
(学生本人直筆のこと。)

保証人は、上記に同意し、学生本人が上記誓約事項を遵守することを保証する。

年 月 日

保証人氏名  
(保証人直筆のこと。)

## 2024 年度出発金沢大学派遣留学候補者推薦書

副学長（国際担当） 殿

所 属 ・ 職 名

氏 名

下記学生との関係

下記の学生を、派遣留学候補者として適当と認め推薦いたします。

面 談 日	20 年 月 日			* 必ず面談をしたうえで推薦してください。
学 生 氏 名			フリガナ：	
所 属 ・ 学 年	学 域 研究科	学 類 専攻	年	
面談時には、応募資格を 確認してください。	<input type="checkbox"/> 成績要件 GPA2.0 以上 （原則として 2022 年度 Q1・Q2）		<input type="checkbox"/> 語学要件（英語使用の留学の場合） TOEFL-iBT60 以上/IELTS5.5 以上	
派遣 希望 大学	第 1 希望	大学名：		国名：
	希望する留学期間：20 年 月 日 ~ 20 年 月 日（ 月）			
	第 2 希望	大学名：		国名：
	第 3 希望	大学名：		国名：

**（学生評価）**

（1） 応募動機・目的、目標：派遣留学および当該協定校を希望する理由、

その目的が具体的で適切であるか。また、目標は実現可能性のあるものとなっているか。

はい  いいえ  どちらともいえない

（2） 準備状況：留学に向けた準備を着実に進めてきたか。

（国際交流活動への参加、英語コース履修、当該専門分野に関する学修等。

はい  いいえ  どちらともいえない

（3） 留学後の計画：帰国後、留学の経験を活かして

金沢大学にどう貢献するか、自身の研究や進路にどう活かすかについて、具体的に考えているか。

はい  いいえ  どちらともいえない

(4) 語学：留学先での学修に必要と思われるレベルの語学力を現時点で備えているか。

はい いいえ (→4-1) どちらともいえない

(4-1) 【いいえ】の学生について、十分でない場合は、留学までの学習計画に具体性があるか。

はい いいえ

(5) 留学先での学修計画：留学先での学修、現地での活動（本学及び協定校の国際交流への貢献）の計画は具体的か。留学先についての情報収集をしっかりと行っているか。

はい いいえ どちらともいえない

(6) コミュニケーション（適性）：渡航先で、他者とのコミュニケーションが円滑に行えると思われるか。

バイタリティ、積極性があるか。

はい いいえ どちらともいえない

#### 特記事項

(単位取得状況、休学歴や心身の状態など、本人の派遣留学に関して留意すべき点がありましたら記入して下さい。とくになければ記入不要です。)

※推薦者は、派遣留学申請者（学生）の指導教員とします。ただし、申請者が学類1・2年生の場合は、本学の専任教員（教授、准教授、講師、助教）で、申請者をよく知る者でも可とします。

※本様式は、日本語または英語で作成してください。

※推薦者である教員自身が、2023年10月2日（月）13時までに、申請学生が所属する学域・研究科の留学担当係（別紙）に、メールで提出してください。



## 各学域・研究科の留学担当係一覧

申請学生の所属		留学担当係（提出先）	E メールアドレス
融合学域		融合系事務部 学生課学生係	yugogaku@adm.kanazawa-u.ac.jp
人間社会学域 人間社会環境研究科 法学研究科 教職実践研究科		人間社会系事務部 学生課大学院・留学支援係	n-daigakuin@adm.kanazawa-u.ac.jp
理工学域 自然科学研究科		理工系事務部 学生課大学院係	s-daigakuin@adm.kanazawa-u.ac.jp
医薬保健学域 医薬保健学 総合研究科	医学類	医薬保健系事務部 学生課医学学務係 学士課程担当	t-igaku1@adm.kanazawa-u.ac.jp
	医学専攻 医科学専攻	医薬保健系事務部 学生課医学学務係 大学院担当	t-daigakuin@adm.kanazawa-u.ac.jp
	薬学類 薬学専攻 創薬科学専攻	医薬保健系事務部 薬学・がん研支援課薬学学務係	y-gakumu@adm.kanazawa-u.ac.jp
	医薬科学類	医薬保健系事務部 学生課医薬科学学務係	iyaku-gaku@adm.kanazawa-u.ac.jp
	保健学類 保健学専攻	医薬保健系事務部 保健学支援課保健学務係	t-igaku2@adm.kanazawa-u.ac.jp
総合教育部		学務部 基幹教育支援課基幹教育学務係	stgaku@adm.kanazawa-u.ac.jp
新学術創成研究科		学務部 学務課新学術創成研究科係	s-yugo@adm.kanazawa-u.ac.jp